

1. 環境マネジメントシステムの運用にあたっては、環境目的・目標をできる限り定量的に定め、変化している状況及び情報をもとに、定期的な見直しを行うとともに、システムの継続的改善を通じて、環境負荷の低減及び環境の保全・創造の推進に努めます。
2. 「地域との共生」、「良い線を作り続けるための資源循環型企業の構築」を目指し、企業活動が環境影響に与える影響を的確に捉え、技術的、経済的に可能な範囲で、下記の三つの分野で、環境を整えます。
 - 資源、エネルギーの効率的利用
 - 廃棄物の排出抑制、適正処理、再資源化
 - 公害防止対策
3. 環境関連の法律、規制、協定、その他の要求事項などを遵守するとともに、環境汚染の予防に努めます。
4. 環境内部監査により活動を確認し、環境マネジメントシステムの維持、向上に努めます。
5. この環境方針は、全社員に周知徹底するとともに、社内外に公表します。

